

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013001	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara_kwassui.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールで質問を受け付けます。nishihara@kwassui.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語で、4技能(読む、聞く、話す、書く)を駆使しながら、情報を正確に理解し、自分が発信したいことを論理的にわかりやすく表現する能力を身につけることを目的とした授業です。NHK国際放送で扱われたニュースを教材とし、現代日本の経済、文化、科学の最近の動向を理解し、社会に自分がどのように貢献できるかを考え、英語で発信していくことを目的としています。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1. 多様な分野に渡るニュースを英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめ英語で発信することができるようになる。 2. 現代日本で、地域社会及び将来世代に貢献するためにどのようなことがなされているのか理解し、さらに、自分がどのような貢献ができるか考え意見交換をすることができるようになる。 3. グループディスカッションやペアワークを通して、主体的に、協働的に課題に取り組むことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト40% + 授業内に示される提出課題10% + 定期試験50% = 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語学学習は授業中の学習だけでは十分ではないため、テキストの内容をオンラインで完全に聞き取れるようになるまで繰り返し見て、概要がスラスラ言えるように表現を自分のものにするようにしてください。また、大学が指定しているe-learning教材もコツコツ毎日取り組むようにしてください。		
キーワード / Key word	英語運用能力、主体的、協働的、社会貢献に対する意識づけ		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	山崎達朗他『NHK NEWSLINE』(金星堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	ニュースの聞き取りだけでなく、それをもとに自分の考えや情報の共有をペアやグループでもらいます。自分から考えて行動することでグループワークを有意義なものにし、英語をできるだけたくさん使うようにしてください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
4月9日	Unit 1 Tea for You
4月16日	Unit 2: Small is Beautiful
4月23日	Unit 3 Youth Trip for Mutual Understanding
5月7日	e-learning教材学習テスト 一回目 Unit 4 Building a Language Bridge
5月14日	Unit 5 Sizzle and the City
5月21日	Unit 6 Summer Spooks
5月28日	Unit 7 Hitmaker
6月4日	Unit 8 Daughters of the Soil
6月11日	Unit 9 Engaging Youth in Politics
6月18日	Unit 10 Magic inn Moonlighting
6月25日	Unit 11 On your Bike
7月2日	e-learning教材学習テスト 二回目 Unit 12 Designing Nations
7月9日	Unit 13 Litter Buster
7月17日	Unit 14 Leveling the Playing Field
7月23日	Unit 15 Wearing Tech on Your Sleeve
7月30日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013002	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailにて受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業では、動物・人体・生命・宇宙・進化の世界について書かれた英文記事を通して、急速に移り変わる世界を分析的に理解する力を養成をします。		
授業到達目標/Course goals	1.地球環境と社会の多様性を理解できるようになる。 2.各トピックで扱った内容を理解した上で、自ら考えようとする態度を持つことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + e-Learning 教材学習テスト40% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	科学の不思議 Mysteries in Science 南雲堂 ¥1,944		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加についてIntroductionで説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Parasitic Butterflies and Their Host Ants		
3回目	復習テスト Where Have All the Honeybees Gone?		

4回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 He or She?
5回目	復習テスト Brain Regeneration
6回目	復習テスト Now You See It, Now You Don't: The Invisible Gorilla
7回目	復習テスト Be Careful of Paper-Cuts
8回目	復習テスト Baby Corals Dance Their Way Home
9回目	復習テスト Monarch Butterfly Migration
10回目	復習テスト No Polar Bears in Antarctic
11回目	復習テスト Wish Upon a Shooting Star
12回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 It's Not Safe Out There!
13回目	復習テスト Come Out, Come Out, Wherever You Are!
14回目	復習テスト Who Is The Smallest of Them All?
15回目	復習テスト Missing Link:Tiktaalik
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/30		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013003	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2K(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students	環境科学部 2K(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikedashiya@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>テキストの英文の内容は、皆さんの専門と関連が深いものであり、グローバル化と情報化の中で世界が直面する、最新の環境などに関する重要な問題を取り扱った、興味深い内容の英文を熟読し、環境科学に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。ひいては、人間にとってどのような社会が健康的で望ましいかという問題を考察し、自分の考えを持つ。</p> <p>21世紀に生きる青年期にある学生の皆さんが、これから生きていくうえで大切な問題について、個人的な健康をはじめ、社会問題から地球規模の環境問題にまで発展させて学ぶ。</p> <p>英文を正確に意味を理解して読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。英文を「英語で」理解できるようになる。</p> <p>フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>世界の健康と環境問題に対して関心を持ち、考えを深めることができる。自らの表現したいことを組み立てるためのスピーキングの基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものにする事ができる。発音の改善ができる。読解とリスニングの技術を高めることができる。文法の復習をし、基本が確かなものにし、応用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対して、さらに意欲を持てるようになる。</p> <p>自らの健康に関心を持ち、環境問題に対する考察をさらに深める。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>定期試験 50%、e-learning教材学習 40%、小テスト 10% を基準とします。</p> <p>定期試験を筆記で行います。</p> <p>課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。</p> <p>また、受講中の活動や態度を非常に重視します。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	<p>毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。</p>		
キーワード/Key word	リーディング / リスニング / 英文読解 / 英文法 / 世界の環境と健康問題 / 未来の健康的な社会についての考察		

教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Mindfulness: Developing Personal and Environmental Awareness 『これからの健康的な社会へ』 (円城寺康子ほか著: 南雲堂)(CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。 発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。
授業計画詳細/Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容/Contents
第1回 4月9日	導入・授業内容の説明
第2回 4月16日	Unit 1 Sense of Taste and Eating Habits
第3回 4月23日	Unit 2 Lose Weight and Stay Active
第4回 5月7日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 3 Dangers of Internet Addiction
第5回 5月14日	Unit 4 Before It Is Late
第6回 5月21日	Unit 5 Global Water Problem
第7回 5月28日	Unit 6 Global Cooperation to Prevent Dementia
第8回 6月4日	Unit 7 Battle against the Ebola Virus
第9回 6月11日	Unit 8 Need for Disaster Medicine: DMAT and JMAT
第10回 6月18日	Unit 9 Angelina's Decision
第11回 6月25日	Unit 11 ES Cells and iPS Cells
第12回 7月2日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 1 ~ 9の復習・まとめ
第13回 7月9日	Unit 12 Mindfulness in Today's Multitasking Culture
第14回 7月17日	Unit 13 Preventing Child Abuse
第15回 7月23日	Unit 15 Education for Better Health and a Better Future
第16回 8月6日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013004	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2T(英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-Learning教材学習テスト(3Step CALL System, Power Words)(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円 (税別)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit 1		

第3回	Listening 2, テキストUnit 2
第4回	Listening 3, テキストUnit 3
第5回	e-learning教材学習テスト(1) (約30分程度), テキストUnit 4
第6回	Listening 4, テキストUnit 5
第7回	Listening 5, テキストUnit 6
第8回	DVD教材(1), テキストUnit 7
第9回	DVD教材(2), テキストUnit 8
第10回	Listening 6, テキストUnit 9
第11回	Listening 7, テキストUnit 10
第12回	Listening 8, テキストUnit 11
第13回	e-learning教材学習テスト(2) (約30分程度), テキストUnit 12
第14回	Listening 9, テキストUnit 13
第15回	まとめ、テキストUnit 14&15
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013005	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Target students	工学部 <2T(英2)>		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	e-learning教材学習テスト(1回目)多聴読プログラム4(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回~第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	多聴読プログラム5(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	e-learning教材学習テスト(2回目)多聴読プログラム11(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	多聴読プログラム12(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回~第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013006	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 香緒里 / Yamasaki Kaori		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	Eメールにより質問を受け付けます kaor1.j.y.04 gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	身近な問題について文章を読んだり、調査したりして、英語で自分の考えを発信できるようになることを目指す。リスニング、スピーキングの機会も多く取り入れ、英語運用能力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	身の回りの問題について考えたことを、わかりやすく相手に伝えられるようになる。 論理的な理由や具体例を適切に用いて、主張することができるようになる。 自分と相手の考え方や文化の違いを理解した上で、議論することができるようになる。 簡単な単語や表現でも、その使用される場を知り、適切に使用できるように、積極的に英語に触れる習慣を身に着ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト (40%) 授業内小テスト (10%) プレゼンテーション課題 (10%) 中間テスト (20%) 期末テスト (20%) 合計100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の復習として、前回の分の文章を音読する (毎回小テストを行う)。また、予習として、Unitの中にある単語問題を解いておく。		
キーワード / Key word	学?が授業を概観できるように、授業で扱う主なトピックを抜きだします。 (授業終了後には、そのキーワードについて説明できるようになっていることが望ましい)		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Two Sides to Every Discussion (成美堂出版)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	遅刻、欠席に注意してください。一緒に楽しく学びましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

4月10日	Unit 1: 大学は秋入学にすべきである？	B
4月17日	Unit 2: 高校の部活は厳しすぎる？	B
4月24日	Unit 4: プロスポーツにもっと外国人選手を使うべきである？	B
5月1日	Unit 5 者よりも経験を買うほうが得である？	B
5月8日	e-learning 教材学習テスト(1回目) Unit 6: 初デートは男性がお金を払うべきである？	B
5月15日	Unit 7: 消費税は15%に引き上げるべきである？	B
5月22日	中間テスト	A
5月29日	Unit 9: SNSは有益なメディアである？	B
6月5日	Unit 11: iPhoneは最高のスマートフォンである？	B
6月12日	Unit 12: ゲームで遊ぶのは時間の無駄である？	B
6月19日	Unit 13: 外国のお祭りを祝うのは良いことである？	B
6月26日	Unit 14: 電車内でものを食べても構わない？	B
7月3日	e-learning 教材学習テスト(2回目) Unit 17: 血液型で人の性格は正しく分類できる？	B
7月10日	Unit 18: 美容整形はいいことである？	B
7月24日	まとめ	A
7月31日	期末テスト	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013007	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	2T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、文章全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)、段落間の関係、を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れるようになる。</p> <p>必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れるようになる。文脈に応じて語彙の解釈ができるようになる。</p> <p>基本的な英語を、聞いて理解できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とするe-Learning教材学習テスト各30分程度)、</p> <p>定期試験45%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約3%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>Innovation and Technology, David Rear, Yo In'nami, Keiko Kawaguchi, Kayoko Murakami, Nan'un-do, ¥1,900+税 (CD付き)</p> <p>第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシス広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシス広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars
第2回	Unit 1 Driving with the Terminator: Augmented Reality for Cars
第3回	Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots
第4回	Unit 2 Artificial Human Beings: Intelligent Robots
第5回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion
第6回	Unit 5 Recreating the Sun on Earth: Nuclear Fusion
第7回	Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers
第8回	Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers
第9回	Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth
第10回	Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth
第11回	Unit 3 Electricity with a Kick: Soccer Ball Power
第12回	Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train
第13回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 11 Cities in the Sky: Mega-Tall Skyscrapers
第14回	Unit 12 Your Mother Was Wrong: The Benefits of Video Games
第15回	Unit 15 Will We Still Need Gasoline? The Future of Cars
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/31		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013008	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 由美子 / Yumiko Yoshida		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noribei07142007 hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	noribei07142007 hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	noribei07142007 hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	最新の話題、新聞記事、ジャーナル、ブログ、インタビューなど様々な文章スタイルを読みこなしながら、語彙力の強化とともに、読解力向上に役立つReading fluency の習得に努める。		
授業到達目標/Course goals	(1) TOEIC 400 ~ 450 のレベルの英文を難なく読みこなす。 (2) 正確な内容理解のために、これまでに学習した基本文法を適用できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-Learning教材学習テスト 40%、課題・小テスト・授業参加 10%、期末試験 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	(1) ユニット毎に出される課題 (読解) を事前に予習しておくこと。 (2) 授業で指示された小テスト (Review Exercise) にしっかり取り組むこと。 (3) e-Learning 教材学習にしっかりと取り組み、確実な成果を上げること。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Active Skills For Reading 3 (Third Edition)		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Active participation in class is highly evaluated. Don't hesitate to speak up and ask questions.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	Course Outline (導入) 教材配布		
2	Unit 1 Chapter 1 Reading Passage		
3	Unit 1 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension		
4	Unit 3 Chapter 1 Reading Passage		
5	e-Learning 教材学習テスト 1回目 Unit 3 Chapter 1 Reading Passage		

6	Unit 3 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
7	Unit 9 Chapter 2 Reading Passage
8	Unit 9 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
9	Unit 10 Chapter 1 Reading Passage
10	Unit 10 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension
11	Unit 10 Chapter 2 Reading Passage
12	Unit 10 Chapter 2 Reading and Vocabulary Comprehension
13	e-Learning 教材学習テスト 2回目 Unit 11 Chapter 1 Reading Passage
14	Unit 11 Chapter 1 Reading Passage
15	Unit 11 Chapter 1 Reading and Vocabulary Comprehension

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013009	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2F1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター (教養教育B棟1F)		
担当教員TEL/Tel	095-816-2380		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 2 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト (2回) : 40% 授業中の取り組み、発表評価 : 30% 期末テスト : 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定するUnitまで予習をしてくる。また、必要に応じてビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Key word	ニュース、CNN、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
第2回	Unit 1、Unit 2 グループ内でのディスカッション	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 グループ内でのディスカッション	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 グループ内でのディスカッション	A B
第5回	e-learning教材学習テスト(1回目) Unit 7 グループ内でのディスカッション	A B
第6回	Unit 8、Unit 9 グループ内でのディスカッション	A B
第7回	Unit 10、Unit 11 グループ内でのディスカッション	A B
第8回	Unit 12、Unit 13 グループ内でのディスカッション	A B
第9回	Unit 14、Unit 15 グループ内でのディスカッション	A B
第10回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	B
第11回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	D
第12回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について調べる。	D
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意見をまとめる。	D
第14回	プレゼンテーション	B
第15回	フィードバック、振り返りとまとめ	A
第16回	期末テスト	E

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013010	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Target students	2F (英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜4時間目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります		
授業到達目標/Course goals	自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。TOEICリーディング問題に慣れ、ポキャブラリーを習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、e-Learning教材学習テスト2回40%、speaking test 10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	ポキャブラリーを覚えること。また、スピーチを作り、何回か練習する		
キーワード / Key word	リピーティング、リーディング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、TOEIC TEST リーディングスピードマスター-New Edition (成重寿、Jリサーチ出版)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語でのスピーチやリーディングを楽しみましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション 教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
第2回	教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
第3回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
第4回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
第5回	e-Learning教材学習テスト1回目 教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
第6回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
第7回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
第8回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
第9回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
第10回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
第11回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6
第12回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6 スピーキングテスト
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目 教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
第14回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
第15回	教科書Unit 8 問題練習 Workbook 8
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013011	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	2F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への積極的な取り組み状況 (発表とクイズ) 10% 定期試験 50%、 e-Learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。		
キーワード / Key word	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション(授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-Up)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	e-Learning 教材学習テスト1回目 Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	e-Learning 教材学習テスト2回目 Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013012	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2G1 ~ 2G3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷川 晋一		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷川 晋一		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	谷川 晋一		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[多文化]総合教育研究棟3F 33番講義室		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	shintanigawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	総合研究棟10階		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールでの申請によって対応		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語4技能を学術的場面において活用する基礎的な訓練を行い、IELTS及びTOEFLを中心とした検定試験や英語での講義に対応できるような総合的な英語力を養成する。実際の検定試験や英語の講義で用いられる題材を用いて、情報を正確に理解し、効果的に読み手・聞き手に伝える方策について学習を行う。そして、それらを作文や発表に応用し、自分の意見や主張を英語で発信する訓練も行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・検定試験や講義等の学術的場面で用いられる語彙や表現を着実に身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・文章構成やディスカッション、プレゼンテーションの基礎を正しく身につけ、自分自身で適切に用いることができるようになる。 ・自分自身の意見や主張を論理的にまとめ、他者に向けて正確に発信できるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト: 40% 日頃の学習状況: 40% 中間・期末課題: 20% 日頃の学習状況には、小テストのスコア、課題の提出状況、eラーニングの進捗状況、授業参加態度が含まれます。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書等は使用せず、プリント等の配布資料を用いる。参考書等は、講義中に提示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、就学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮の提供に取り組んでいる。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)に相談すること。 アシスト広場(障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	原則として、全回出席をしなければ単位は成立しない。また、この授業では、予習・復習を前提とした出席と小テスト・課題を中心に成績評価を行う。出席したとしても、予習・復習が不十分である場合には、必然的に、点数が低くなるため、その点に留意して、積極的に授業に取り組むこと。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回: 4/5	オリエンテーション & 準備学習
第2回: 4/12	配布資料1
第3回: 4/19	配布資料2
第4回: 4/26	配布資料3
第5回: 5/10	e-learning教材学習テスト (1) & 配布資料4
第6回: 5/17	配布資料5
第7回: 5/24	配布資料6
第8回: 5/31	中間課題
第9回: 6/7	配布資料7
第10回: 6/14	配布資料8
第11回: 6/21	配布資料9
第12回: 6/28	配布資料10
第13回: 7/5	e-learning教材学習テスト (2) & 配布資料11
第14回: 7/12	配布資料12
第15回: 7/19	期末課題

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013013	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	2E(英4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。CLIL型学習を導入して、学生が英語を通じて知識を増やし考えることに重点を置く。ペア・ワークやグループ活動を通して学生が自主的に学ぶ内容も含める。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で書かれた現代の問題についての記事や報告が読めるようになる。 2. 英語で話された時事問題や意見などが会話レベルであれば理解できるようになる。 3. 英語で時事問題についての簡単な意見のやりとりができるようになる。 4. 英語で時事問題についての意見を簡単な文であれば書けるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 授業への参加度 15%。 課外学習のe-Learning 40%(e-Learning教材学習テスト1回目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットのReadingを読んでくることを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととListeningのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。		
キーワード/Key word	Content, Communication, Cognition, Culture/Community		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	笹島茂他著『CLIL 英語で学ぶ国際問題』三修社, 2014		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション (英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)
第2回	Unit 1: Stereotypes and Racism
第3回	Unit 2: Information and Communication
第4回	Unit 3: Culture and Fashion
第5回	Unit 4: Health e-learning教材学習テスト 1回目
第6回	Unit 5: Food
第7回	中間テスト
第8回	Unit 6: A Sound Material-Cycle Society
第9回	Unit 7: Global Warming
第10回	Unit 8: Energy
第11回	Unit 9: Ecosystems and Humans
第12回	Unit 11: International Relationships
第13回	Unit 12: War and Peace e-learning教材学習テスト 2回目
第14回	Unit 13: Human Rights
第15回	Unit 14: Global Citizenship
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013014	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2.00E+05		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター (教養教育B棟1F)		
担当教員TEL/Tel	095-816-2380		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 2 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ニュースを通して、時事ネタを英語で学ぶ。興味のあるニュースについて調べ、理解し、他者と意見交換を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なニュースであれば、概要を理解できるようになる。 ・自分が興味のあるニューストピックを見つけ、調べ、英語で概要をまとめられるようになる。 ・自分の意見を簡潔に英語で伝えられるようになる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト (2回) : 40% 授業中の取り組み、発表評価 : 30% 期末テスト : 30%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	指定するUnitまで予習をしてくる。また、必要に応じてビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Key word	ニュース、CNN、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	CNNショートニュースを用いたリスニング・リーディング		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

第1回	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
第2回	Unit 1、Unit 2 グループ内でのディスカッション	A B
第3回	Unit 3、Unit 4 グループ内でのディスカッション	A B
第4回	Unit 5、Unit 6 グループ内でのディスカッション	A B
第5回	e-learning教材学習テスト(1回目) Unit 7 グループ内でのディスカッション	A B
第6回	Unit 8、Unit 9 グループ内でのディスカッション	A B
第7回	Unit 10、Unit 11 グループ内でのディスカッション	A B
第8回	Unit 12、Unit 13 グループ内でのディスカッション	A B
第9回	Unit 14、Unit 15 グループ内でのディスカッション	A B
第10回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	B
第11回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事を探す。	D
第12回	グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について調べる。	D
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) グループで興味のあるニュースを選び、関連記事について自分達の意見をまとめる。	D
第14回	プレゼンテーション	B
第15回	フィードバック、振り返りとまとめ	A
第16回	期末テスト	E

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013015	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	経(2E(英6))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤控え室		
担当教員TEL/Tel	長崎県立大学 813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 1、2校時の終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1?B2レベルの英語運用能力の習熟をはかる。		
授業到達目標/Course goals	CEFR B1?B2レベルの英文テキストを用いた事前学習、クラス演習を通じて、B1~B2レベルの英文を読解する(リーディング)、聞き取る(リスニング)、音読する(スピーキング)、英文を作成する(ライティング)ことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	40% 大学指定学習課題の評価 (e-learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words)) 60% クラステキスト教材の学習成果 (必ず中間、期末試験を受けること)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前: 前週学習した英文テキストのリスニング演習 (クラスでリスニング・Quizを実施します) 事後: 教材テキスト、プリント教材の音読・リスニング演習 (Shadowing含む)		
キーワード/Key word	Common European Frame of References of Languages (CEFR)		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Morgan, J.R & Douglas, N. (2016). World Link 2 3rd ed. Cengage Learning.		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	毎週の授業開始時に実施するListening Quiz (前週 学習内容) を受けること		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp備考 (URL)		
備考 (URL) / Remarks (URL)	www.cengage.com		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典 (詳細、初回) が利用可。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		

Orientation	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス履修のための予習、復習の仕方について ・CEFRとは ・クラス教材を用いた授業展開について
Unit 1 My life	演習 1 (Video) Inside Afghanistan's first boarding school for girls/ (Reading) Try , try again
Unit 2 Let's eat!	演習 2 Listening Quiz 1 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Frozen, fresh or canned?/ (Reading) The healthiest lifestyle in the world?
Unit 3 Mysteries	演習 3 Listening Quiz 2 (前週学習分のリスニング問題) (Video) The luckiest unlucky man to ever live/ (Reading) Mysterious artwork
Unit 4 Trends	第1回e-Learning 教材学習テスト 演習 4 Listening Quiz 3 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Are you typical?/ (Reading) Trendspotting
Unit 5 Out and about/	演習 5 Listening Quiz 3 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Bic5ycle anecdotes from Amsterdam/ (Reading) I love my neighborhood
Unit 6 Goals	演習 6 Listening Quiz 4 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Young entrepreneur/ (Reading) A different road to success
Review 1	中間まとめ、確認テスト Review 1: U1 to U6 Language & grammar topics
Unit 7 Celebrations	演習 7 Listening Quiz 5 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Soccer celebrations/ (Reading) Get ready to get dirty
Unit 8 Storytelling	演習 8 Listening Quiz 6 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Star Wars subway car/ (Reading) The Cinderella story
Unit 9 Work	演習 9 Listening Quiz 7 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Job interview advice/ (Reading) Asher Jay: creative conservationist
Unit 10 Telephone	演習 10 Listening Quiz 8 (前週学習分のリスニング問題) (Video) A conference call in real life/ (Reading) Phone-free on the road?
Unit 11 Technology	第2回e-Learning 教材学習テスト 演習 11 Listening Quiz 9 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Kids react to old computers/ (Reading) Robots to the rescue
Unit 12 Travel/	演習 12 Listening Quiz 10 (前週学習分のリスニング問題) (Video) Keeping clean while traveling/ (Reading) Going solo is the way to go!
Review 2	後半まとめ、確認 Review 2: U7 to U12 Language & grammar topics

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013016	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) / Target students	経2E(英I)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤控え室(金曜 I, II)		
担当教員TEL/Tel	長崎県立大学 813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜 I, II 休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1?B2レベルの英語運用能力を涵養する。		
授業到達目標/Course goals	CEFR B1?B2レベルの英文テキストを用いた事前学習、クラス演習を通じて、B1~B2レベルの英文を読解する(リーディング)、聞き取る(リスニング)、音読する(スピーキング)、英文を作成する(ライティング)ことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	40% 大学自律学習課題(e-learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words)) 60% クラス展開のテキスト、教材(自律学習含む)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	教材準拠のオンライン学習コンテンツ、教材テキストの音声教材を用いた自律学習を心がけてください。		
キーワード / Key word	CEFR B1, CEFR B2		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Johannsen, K.L. & Chase, R.T. (2015). World English 3 2nd ed. Cengage Learning		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	毎週のクラスでは最初にListening Quiz(前週学習内容)を実施しますので、クラスに遅れないようにして必ず受けてください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	NGL.Cengage.com		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典(詳細、初回)が利用可です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

Orientation	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用教材とクラス展開について, ・ Shadowingを用いた英文テキストの音読について ・ CEFR B1, B2とは
Unit 1	U1 People and places: (reading) Pioneers of the Pacific/ (video) San Francisco's mission district
Unit 2	U1 Listening Quiz U2 The mind: (reading) In your face/ (video) Memory man
Unit 3	U2 Listening Quiz U3 Changing planet: (reading) Salvation in Greentech/ (video) The Netherlands: Rising water
Unit 4	第1回e-Learning 教材学習テスト U4 Money vs. wealth: (reading) Music is medicine, music is sanity/ (video) Making a deal
Unit 5	U4 Listening Quiz U5 Survival: (reading) Survival school/ (video) Andean weavers
Unit 6	U5 Listening Quiz U6 Art: (reading) Saving a city's public art/ (video) Faces of India
Review 1	Review 1: 前半学習内容 (Units 1 to 6) のレビュー、確認試験
Unit 7	U7 Getting around: (reading) The rickshaws of Kolkata/ (video) Big city bicycle messengers
Unit 8	U7 Listening Quiz U8 Competition: (reading) In sports, red is the winning color/ (video) Women in the rodeo
Unit 9	U8 Listening Quiz U9 Danger: (reading) Three things I learned while my plane crashed/ (video) Destroyers
Unit 10	U9 Listening Quiz U10 Mysteries: (reading) Hands across time/ (video) Crop circles
Unit 11	第2回e-Learning 教材学習テスト U11 Learning: (reading) Five dangerous things (You should let your children do)/ (video) Butler school
Unit 12	U11 Listening Quiz U12 Space: (reading) The Hubble space telescope/ (video) Daring mighty things: Curiosity lands on Mars
Review 2	U12 Listening Quiz Review 2 後半学習内容 (U6 to U12) のレビュー

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013017	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-Learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words) 40% Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード/Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英会話の教科書(Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	
第1回	英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)	B	
第2回	初対面のあいさつ、自己紹介	B	
第3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う	B	

第4回	お礼を言う・謝る	B
第5回	e-Learning教材学習テスト1回目、中間テスト ④	A
第6回	ほめる・誘う	B
第7回	お悔やみ	B
第8回	人間関係は対等・まず結論ありき	B
第9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ	B
第10回	色の表現・語順はやっかいだ	B
第11回	そのカタカナ英語、通じない!	B
第12回	曖昧表現・間接表現	B
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目、中間試験 A	A
第14回	謙譲表現・丁寧さを出すノウハウ	B
第15回	まとめ	B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/07/27		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013018	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Target students	2E(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、e-learning課外学習も組み入れてリスニング力・語彙力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	1. 平易な英語で書かれていれば、社会の問題について書かれた英文でも理解できるようになる。 2. わかりやすく話された英語であれば、ビジネスや社会のことについての会話でも理解できるようになる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、文で相手に伝えることができるようになる。 4. 英文の質問に対する自分の意見などを、平易な英文で書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 授業への参加度15% 課外学習のe-learning 40% (e-learning教材学習テスト1回目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットの語彙クイズ(Key Vocabulary)をして、Reading Passageを読んできるところを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととDVDのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。		
キーワード/Key word	Repetition is the mother of learning.		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Alice Gordenker / John Rucynski 『Working in Japan』 Cengage Learning, 2015		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障害学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World
第4回	Unit 3: Love Sells Cars
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words e-learning教材学習テスト 1回目
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service
第7回	中間テスト
第8回	Unit 6: Toast Your Success!
第9回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change
第13回	Unit 11: Connect Workers With Companies e-learning教材学習テスト 2回目
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention
第15回	Unit 13: What's the Recipe for Success
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013019	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2D1・2D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	健康・医療、経済・産業、人権、ファッションと多岐にわたるトピックに触れ、今、世界がどのような事柄に関心を抱いているのか理解を深める読解を中心とした授業です。また、リスニングの上達に必要なとされる知識を身に付け、リスニング力の強化も図ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 地球環境と社会の多様性を理解できるようになる。 2. 各トピックで扱った内容を理解した上で、自ら考えようとする態度を持つことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + e-Learning 教材学習テスト40% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	AMBITIONS Intermediate 金星堂 ¥2,000 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加についてIntroductionで説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Cross-Cultural Understanding (Listening Focus + Reading Focus)		
3回目	復習テスト Foods (Listening Focus + Reading Focus)		

4回目	復習テスト Foreign Language Learning (Listening Focus + Reading Focus)
5回目	復習テスト Sports (Listening Focus + Reading Focus)
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Fashion (Listening Focus + Reading Focus)
7回目	復習テスト Living Things (Listening Focus + Reading Focus)
8回目	復習テスト Art (Listening Focus + Reading Focus)
9回目	復習テスト Global Issues (Listening Focus + Reading Focus)
10回目	復習テスト Japanese Culture (Listening Focus + Reading Focus)
11回目	復習テスト Human Rights (Listening Focus + Reading Focus)
12回目	復習テスト Health & Medical Issues (Listening Focus + Reading Focus)
13回目	復習テスト Environmental Issues (Listening Focus + Reading Focus)
14回目	e-Learning 教材学習小テスト2回目 Economy & Industry (Listening Focus + Reading Focus)
15回目	復習テスト Legal Issues (Listening Focus + Reading Focus)
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013020	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	(2T英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 水4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	CD教材のテキスト中に登場する重要構文や表現に関して、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し自然と発話できるように訓練する。またCD教材の各ビニエットは、英文を聞いて内容の重要部分が聞き取れるように、様々なタスクを用いて訓練する。読解に関しては、TOEFL読解問題を利用して速読の練習を行い、英文をはやく正確に読む訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報や考えを理解することができる。 2) 様々なテーマを扱ったアカデミックな内容の英文を読んで、必要な情報や考えを理解することができる。 3) テキストの内容を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験40%、e-learning教材学習テスト40%、プレゼンペーパー等の提出物10%、授業でのアクティビティ、小テスト 10%で行います。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。 ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード/Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies、 Scanning、 Skimming		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書 (テキスト) : Healing Our World (南雲堂) ¥1,800		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning 教材（3 Step やパワーワーズ）やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション, Reading (生態系関係のエッセイ) Business English Flu (1) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 1-5
第2回	Reading (物理関係のエッセイ) Business English Flu (2) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 6-10
第3回	Reading (環境問題関係のエッセイ) Business English Flu (3) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words 小テスト
第4回	Business English Flu (4) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 11-15
第5回	Reading (歴史関係のエッセイ) Business English Flu (5) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 16-20 小テスト
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目 Reading (考古学関係のエッセイ)
第7回	Business English Flu 復習テスト Reading (地理関係のエッセイ) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 21-25
第8回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (1) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 26-30 小テスト
第9回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (2) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 31-35
第10回	Reading (化学関係のエッセイ) Business English Good Posture (3) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 36-40 小テスト
第11回	Reading (言語関係のエッセイ) Business English Good Posture (4) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 41-45
第12回	Reading (多文化関係のエッセイ) Business English Good Posture (5) 3 - STEP Introduction to College Life Power Words Unit 46-50
第13回	Business English Good Posture 復習テスト Reading (工学関係のエッセイ)
第14回	e-learning教材学習テスト第2回目 トピック題材を用いたプレゼンテーショングループワーク (2)
第15回	トピック題材を用いたプレゼンテーション代表者コンテスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013021	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英7)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Target students	Ⅰ 2T (英7)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる (TED English Central) 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す 4・e-learningを通したinputと授業中に行うoutputの練習を通し英語の総合力向上を目指す 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ol style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + e-learning教材学習テスト (40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10/1	Orientation Speaking activity Group activity
第2回 10/15	Listening activity Speaking activity Group activity
第3回 10/22	Listening activity Speaking activity Group activity
第4回 10/29	Listening activity Speaking activity Group activity
第5回 11/5	Listening activity Speaking activity Group activity
第6回 11/12	e-learning教材学習テスト @ Speaking activity Group activity(rehearsal)
第7回 11/19	Presentation @
第8回 11/26	Listening activity Speaking activity Group activity
第9回 12/3	Listening activity Speaking activity Group activity
第10回 12/10	Listening activity Speaking activity Group activity
第11回 12/17	Listening activity Speaking activity Group activity
第12回 1/7	Listening activity Speaking activity Group activity
第13回 1/15	Listening activity Speaking activity Group activity
第14回 1/21	e-learning教材学習テスト A Speaking activity Group activity(rehearsal)
第15回 1/28	Presentation A
第16回 2/4	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013022	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英8)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	香川 実成 / Kagawa Jitusei		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Target students	工学部2年 2T(英8)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	midwinter.jk@gmail.com (メール送信時には を@に代えて下さい。)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	9043429702		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日12:00 ~ 12:30		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	The Japan Timesに掲載された、サイエンスに関するニュース記事を読み、聴き、音読することを授業のおもな活動内容とする。科学分野を構成する基礎的な専門用語を音声と意味の両面で正しく使えるようになることは、専門科目での学習にも役立つものと期待する。同じ意図から、科学英語の根幹をなす、英語による数字表現についても、数字表現(例: 3t)、英語表記(例: three tons)、英語音声の3つをセットとして、毎回の授業で取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	この授業では、 1. 科学分野を構成する基礎的な専門用語を身につけ、論文等で使えるようになる、 2. 種々の単位記号を含む英語の数字表現を音読できるようになる、 3. 科学エッセイ、科学論文をある程度理解できる読解力、及び音読できる力を身につける、 —以上の3つを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-Learning教材学習テスト: 40% 定期試験: 30% 予習小テスト: 10% 復習小テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 英文ニュースで使われている語句の音声、意味を調べ、教科書所定の欄に記入する。語句、ニュース本文の音声をダウンロードして、リスニング及び音読の練習をおこなう。 事後学習: 英文ニュースの内容を100%理解した上で、再度リスニング及び音読をおこなう。		
キーワード / Key word	科学英語 数字表現		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Kazuya Yasuhara, Basic Scientific English: Starting with Newspaper Articles (2018, Eihosha)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	原則として全回出席し、すべての小テストを提出することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	科学英語とはいえ、The Japan Timesのニュース記事が出典なので、分野の専門性はそれほど高くありません。皆さんが多様な領域のトピックに関心を持って、主体的に英文ニュースを読んだり、聴いたりなるよう、僅かながら応援します。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Oct. 1 授業の進め方と課題の内容について
第2回	Oct. 15 Unit 1: Nanotechnology
第3回	Oct. 22 Unit 2: Cancer Blood Tests
第4回	Oct. 29 Unit 3: Traffic Accidents
第5回	Nov. 5 Unit 4: Hay Fever Season
第6回	Nov. 12 Unit 5: Norovirus * e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Nov. 19 Unit 6: Kaguya
第8回	Nov. 26 Unit 7: GPS
第9回	Dec. 3 Unit 8: iPS Cells
第10回	Dec. 10 Unit 9: Ocean Acidification
第11回	Dec. 17 Unit 10: Blue LEDs
第12回	Jan. 7 Unit 11: Nihonium
第13回	Jan. 21 Unit 12: Echolocation
第14回	Jan. 28 Unit 13: Regenerative Medicine * e-Learning教材学習テスト2回目
第15回	Feb. 4 Unit 14: Early Earth 定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013023	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英9)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	ローン 悦子 / Lawn Etsuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	etsukolawn hotmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>本授業では、大学や社会で必要とされる英語の基礎能力の習得を目指します。英語は、世界とつながるための有効なツールです。今後、英語を使えるようになると、あなたの世界はグローバル単位で大きく広がりますし、職業上でも様々なチャンスを得られる機会が増えることでしょう。本授業では、皆さんになかなか機会のない英語の「話す」「書く」のアウトプットの能力の向上を目指す活動に慣れ親しんでもらい、これまでの「知識としての英語」から実際に「使える」コミュニケーション能力を1つでも多く身につけてもらうことを目指します。</p> <p>授業では、上記の目標を達成するために必要な表現・スキルの説明と演習をします。さらに授業内容を定着するために、ほぼ毎レッスン小テストを行います。テキストをベースに基礎的なコミュニケーションに役に立つような表現を学習していきます。また、新しい語彙、表現力を増やすためにネイティブスピーカーの生活圏にある素材を用いた教材、洋画 (DVD視聴) を使用し、Readers' theater (朗読劇) などの活動を通して日本人学習者の苦手なイントネーション、単語のつながり方、間の取り方などの改善を図り、ペアワーク、グループワークをより多く取り入れて授業を進めていきます。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p>1回の授業は、以下の流れで進めて行きます。</p> <p>(1) LACSによる小テスト</p> <p>(2) テキストを使用した演習 (グループワーク、Readers' theater 等の学習を含む)</p> <p>(3) 3分間 (フリーorトピック)</p> <p>(4) 洋画視聴 (5分程度)</p> <p>提出されたグループワークは、添削評価して返却します。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>(1) 異文化について書かれたトピックの英文を要約できるようになる。</p> <p>(2) 与えられた写真 (あるいは絵) を見て的確に英語で表現することができるようになる。</p> <p>(3) やや簡易な会話を聞いて要約できるようになる。</p> <p>(4) その会話の和訳を英訳できるようになる。</p> <p>(5) 与えられたトピックについて3分間会話を続けることができるようになる。</p> <p>(6) 洋画を英語音声、英語字幕で視聴し、内容のある程度理解することができるようになる。</p> <p>(7) 洋画のある映像の発音、イントネーション、間等を練習しネイティブにより近い発音で音読できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験20%、授業中への取り組み、小テスト、グループワーク、Readers' theater 40%、課外学習のe-learning(e-Learning教材学習テスト2回40% (3 Step Call System, Power Words))を総合的に判断します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各自テキスト付属のCD-ROM等を使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。
キーワード/Key word	フレーズリーディング、シャドーイング、リピーティング、ディクテーション
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書としてJack C. Richards・David Bohlke 著 『Four Corners 3 Student's Book B with Self-study CD-ROM』 Cambridge University Press - ISBN:978-0-521-12754-7を使用します。 *第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	教科書、英語辞典(電子辞書可)を毎回持参、また毎回授業に出席すること(時間厳守)。 学習する内容は、きちんと予習、復習すること!
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考(URL)/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	英語が話せる(使える)と世界(チャンス)が広がります。今できることをどんどんトライして下さい。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月1日	第1回のオリエンテーションの授業では、授業で扱う内容や学習方法、評価方法などを説明します。授業は、演習形式で行います。授業では、眠ったボキャブラリー&表現を「使える」英語へと変えるために、受講生には、ペアワーク、グループワークを通して出来る限りアウトプット能力を高めるためにスピーキング&ライティングなどの機会を設けます。特に、スピーキングの明瞭さを向上させるために、DVDの視聴、補助教材も適宜使用しReaders' theater(朗読劇)などの活動を通して、イントネーション、間の取り方などに焦点をあてて練習していきます。また、スピーキングの弱点を克服するために、学習した表現が適切に使われているか等確認しながら練習していきます。会話の練習を何度も繰り返すことにより、日本語と英語の発想の違いなどを体感してほしいと思います。テキスト付属のSelf-study CD-ROMを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。また、本授業では、e-learning教材を課外学習として取り組んでもらいます(評価40%)。 オリエンテーション、授業の進め方、Self-introduction、DVD視聴(2回目以降も継続的に視聴)
第2回 10月15日	テキストRelationships
第3回 10月22日	Relationships (G/W)
第4回 10月29日	Relationships
第5回 11月5日	Relationships, e-learning 復習他
第6回 11月12日	1回目e-learning教材学習テスト, Music
第7回 11月19日	Readers' theater @ (G/W)
第8回 11月26日	Music
第9回 12月3日	Music
第10回 12月10日	On Vacation
第11回 12月17日	On Vacation, (G/W)
第12回 1月7日	On Vacation
第13回 1月15日	On Vacation,, e-learning 復習他
第14回 1月21日	2回目e-learning教材学習テスト, Review
第15回 1月28日	Review
第16回 2月4日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013024	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2T(英10)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松本 知子 / Tomoko Matsumoto		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	2T(英10)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tmatsumoto niu.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	0956-20-5532 (長崎国際大学人間社会学部国際観光学科)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は、授業中、授業の前後、もしくはEメール (tmatsumoto niu.ac.jp) にて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界中で親しまれているスヌーピーの漫画を読むことで、英語に対するアレルギーをなくし、多様なアクティビティで積極的な授業参加を促します。日常よく使われる英語表現と、基礎的なポイント文法を学習し、基本から英語を習得することを目標とします。授業では、漫画の内容と面白い点やオチをペアで英語でプレゼンをしてもらうこととします。		
授業到達目標/Course goals	1. 身近な話題や経験について、読んだり書いたりすることができる。 2. 英語の読み書きの際に、英語の構造を活用することができる。 3. 日常生活に関するトピックについて英語でコミュニケーションをとることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	成績評価は、定期試験 (30%)、授業時に出される宿題を含む課題の成績 (10%)、授業での質疑応答や会話練習などにおける積極的な取り組み (20%)、e-learning教材学習テスト (40%) で行います。課題レポートは、第7回目にそれまでの授業内容に関する課題を課し、内容を評価します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしてください。プレゼンテーションの準備では、原稿を読まないですむように練習しておいてください。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『Fun English with SNOOPY スヌーピーと楽しく学ぶ基礎英語』 / Hidehiko Konaka 著 / CENGAGE (2,160円)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業前には、重要単語や語句の意味の確認を辞書を用いて行い、授業後には、音読練習をしてください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席、途中退室などをせず、積極的に授業に参加することを期待します。 ・授業前には、重要単語や語句の意味の確認を予習として行い、授業後には、音読練習をしてください。 ・辞書（電子辞書可）を持参の上、授業に臨んでください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 授業内容と評価方法等の説明、アンケートの実施
第2回	Unit 11, Unit 1(1), (2)発表, I know what I should have said. You don ' t have to do / must have done / for A to do助動詞
第3回	Unit 11, Unit 1(3), Unit 2(1)発表, I know what I should have said. You don ' t have to do / must have done / for A to do 助動詞
第4回	Unit 12, Unit 2(2),(3)発表, I don ' t want to get him in the stomach with the ball. ask A to do / I need to do / I don ' t want to do 受動態
第5回	Unit 12, Unit 3(1),(2)発表, I don ' t want to get him in the stomach with the ball. ask A to do / I need to do / I don ' t want to do 受動態
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目, Unit 13, Unit 3(3), Unit 4(1)発表, Are you going to stay home this summer? let A do / have trouble doing / get A to do 不定詞
第7回	課題発表, Unit 13, Unit 4(2),(3)発表, Are you going to stay home this summer? let A do / have trouble doing / get A to do 不定詞
第8回	Unit 14, Unit 5(1)(2)発表, I ' ll just impress her by how many hot dogs I can eat. It ' s time for A / I ' m worried about A / It ' s nice doing 動名詞
第9回	Unit 14, Unit 5(3), Unit 6(1)発表, I ' ll just impress her by how many hot dogs I can eat. It ' s time for A / I ' m worried about A / It ' s nice doing 動名詞
第10回	Unit 15, Unit 6(2)(3)発表, Being in love with two different girls can make you do strange things. go doing / make A do / watch A doing 分詞
第11回	Unit 15, Unit 7(1)(2)発表, Being in love with two different girls can make you do strange things. go doing / make A do / watch A doing 分詞
第12回	Unit 16, Unit 7(3), Unit 8(1)発表, It is often seen in persons with sedentary jobs. be awake / one of the+最上級+A / I ' m afraid (that)... 形容詞・副詞
第13回	Unit 16, Unit 8(2)(3)発表, It is often seen in persons with sedentary jobs. be awake / one of the+最上級+A / I ' m afraid (that)... 形容詞・副詞
第14回	e-learning教材学習テスト第2回目, Unit 17, Unit 9(1)(2)発表, After a trial, my clients are always more depressed than I am. be likely to do / I guess (that)... / There ' s a possibility that... 比較
第15回	Unit 17, Unit 9(3), Unit 10(1)発表, After a trial, my clients are always more depressed than I am. be likely to do / I guess (that)... / There ' s a possibility that... 比較
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013025	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Target students	医(2M(英1))(習熟度別) [Advancedクラス]		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	文教キャンパス 共用校舎2 一階 (総合体育館裏)		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後、または個別相談は事前にメールで時間を約束してから研究室へ来てください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	映画「イン・アメリカ」(2002年・fox映画制作作品)のストーリーを楽しみながら、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。ペアを組みペア同士で練習問題を相互学習する。		
授業到達目標/Course goals	映画を教材として使用して、英語表現やリスニング習得と共にストーリーの展開を理解することを目的とする。この映画にはアイルランドの歴史と文化、移民問題、アメリカの社会問題、そして家族、人間、愛、などの多くの要素が含まれており、これらの題材を用いることにより、異文化を理解し、又アメリカ文化を取り巻く様々な問題についても考える。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	評価: 5回欠席した場合、期末テストは受験できない。 1. e-Learning教材学習テスト(3step・PowerWords) 2回 40%, 2. 期末テスト 40% 3. その他(授業中の作業、参加態度) 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	英語コミュニケーション能力、アメリカ文化、ペアワーク		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「イン・アメリカ」北山長貴他編著 英宝社		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	履修者登録、授業のガイダンス、DVD鑑賞		
2	Unit 1 Do you believe in Magic? / 英米の単語(1)・会話表現(1)		
3	Unit 2 Humidity/ 英米の通貨		

4	Unit 3 A game of chance/ 感嘆・呼びかけの表現
5	Unit 4 Halloween/ 英単語の構造
6	Unit 5 Colcannon
7	Unit 6 I'm in love with anything that lives/e-learning教材学習テストNo.1
8	Unit 6 I'm in love with anything that lives / Unit 7 Desperado
9	Unit 7 Desperado /Unit 8 Masselo masela/ イントネーション
10	Unit 8 Masselo masela /Unit 9 Do you believe in aliens?/ 会話表現
11	Unit 9 Do you believe in aliens?/ Unit 10 Pray for the new baby/ 強勢（複合語と句動詞）・会話表現（3）
12	Unit 10 Pray for the new baby /Unit 11 Mateo and the new born baby/ 強勢（複合語と句）
13	Unit 11 Mateo and the new born baby/ 強勢（複合語と句）Unit 12 Say goodbye to Frankie, dad
14	Unit 12 Say goodbye to Frankie, dad /e-learning教材学習テストNo.2
15	Unit 12 Say goodbye to Frankie, dad/ 復習
16	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013026	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟45 / RoomC-45		
対象学生 (クラス等) / Target students	2M2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	10:20? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)?必要最低限の英語 (及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のe-Learning教材学習テスト40% (1回目20%+2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-Learning教材学習テスト(1回目)、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化 ①)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化 A)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	Greetings Clinical Hints (Wh Questions)
第12回	Abdominal Pain (Possible disease : acute gastritis) Physical Examination of the Abdomen/Endoscopy
第13回	Cough, Fever, and Headache (Possible disease : acute bronchitis) Physical Examination of the Chest and Back
第14回	e-Learning教材学習テスト(2回目) Chest Pain (Possible disease : angina pectoris) Vital Signs and ECG
第15回	Problem Found at the Medical Checkup (Possible disease : diabetes) Urine Test and Blood Test まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に医療英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013027	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	医学部 <2M(英3)>		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000(長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回～第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	e-learning教材学習テスト(1回目) 聴読プログラム5(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8(題材:アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム12(題材:アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回～第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013028	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	2M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせ、異議申し立ては、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可 詳細は授業にてお知らせいたします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようにします。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得ることができる情報も、知識人として必要なものになります。また、先に来る情報収集の際に必要な論文の読み方もしっかりとした目標にすえていきます。 また、長崎大学があげる全学共通の6つのディプロマポリシーを段階的に習得できるよう、そして3年次専門教育の学びにスムーズに移行できるようスキルアップを目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Class Participation: 15% (講義中の睡眠、携帯の操作等はマイナス態度) 課外学習のe-learning 40% (e-learning 教材学習テスト 1回目20%、2回目20%) Final Examination 45%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習: 次の講義で進めるUnit内の単語やフレーズの確認、内容理解への挑戦 事後学習: 講義で学んだ新情報の復習、事前学習で理解できていなかった内容の確認 事前学習は自分が持っているスキルや知識の確認です。「知っていること」、「知らないこと」を仕分けしておき、講義で「知らないこと」を理解できるように準備すること。講義時間を有意義なものにするための準備が事前学習です。		
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、読解力、先生離れへの助長		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書 (英和、和英)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が1/3以上でClass Participationを0%と致します。 欠席報告 (公欠) は後日、欠席届けを提出してください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	e-learningテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	Introduction
第2回 9日	Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)
第3回 16日	Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)
第4回 23日	Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)
第5回 30日	Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)
第6回 11月6日	Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)
第7回 13日	Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) e-learning 教材学習テスト 1回目
第8回 20日	Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)
第9回 27日	Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)
第10回 12月4日	Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy
第11回 11日	Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)
第12回 18日	Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)
第13回 1月8日	Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan
第14回 22日	Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Steam Factory Nagasaki 1856 e-learning 教材学習テスト 2回目
第15回 29日	Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan:Growth 1861-1865
第16回	Final Examination 2月5日、2月12日 どちらかの日程で施行予定

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013029	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	川島 浩勝 / Kawashima Hirokatsu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	医学部 (2M5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kawashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp 注意:メールのマナー(ビジネスレター等)が守られている場合のみ、返信し、対応する。(メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (長崎外国語大学 内線334)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	「総合英語II」における学習成果を基に、高度なリスニング力とリーディング力を身につけるための勉強法を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	最終的な目標は、1)リスニングに対応できる語彙力・発音力のアップ、2)口語英語のスピード・イントネーション・リズム等に対応できるリスニング力・発音力の強化、3)長い英文をリスニングのスピードで読めるようになる、の3つであるが、本授業の到達目標は、受講者がこらら3つの目標を達成するための基礎的情報を得ることである。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	基本的に、E-Learning教材学習テスト40%・課題30%・期末試験30%で総合的に評価するが、授業の進捗等により課題30%・期末試験30%に関しては、割合を若干変更することがある。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、授業で配布する資料を参照すること。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	基本的に毎回課題が出される。授業中に導入部分(部分ディクテーション等)を実際に行い、残りが課題となる。また、ネット上のニュース等を見て、新しい単語や表現等を整理し、まとめる課題も出される。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	基本的にはプリント教材を配布するが、授業中実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	課題は多いが、意欲的に取り組んで、英語の力をつけて欲しい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回	授業方針の説明・英語力診断テスト・授業関連アンケート
2回	多聴読プログラム1 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙1・センテンスディクテーション&リピーティング1・母音に関する類似音の発音
3回	多聴読プログラム2 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙2・センテンスディクテーション&リピーティング2・母音に関する類似音の識別
4回	多聴読プログラム3 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙3・センテンスディクテーション&リピーティング3・子音に関する類似音の発音
5回	多聴読プログラム4 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための基礎語彙4・センテンスディクテーション&リピーティング4・子音に関する類似音の識別
6回	第1回～第5回の授業の振り返り(フィードバック)・音楽と英語学習の関係についての講義・音楽教材の収集と情報交換
7回	e-learning教材学習テスト(1回目) 聴読プログラム5 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙1・センテンスディクテーション&オーバーラッピング1・音楽の中の類似音1
8回	多聴読プログラム6 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙2・センテンスディクテーション&オーバーラッピング2・音楽の中の類似音2
9回	多聴読プログラム7 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙3・センテンスディクテーション&オーバーラッピング3・音楽の中の類似音3
10回	多聴読プログラム8 (題材: アメリカの家族生活)・リスニングのための時事語彙4・センテンスディクテーション&オーバーラッピング4・音楽の中の類似音4
11回	多聴読プログラム9 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙1・教養番組のリーディング1・センテンスディクテーション&シャドーイング1・音楽の中の連続音1
12回	多聴読プログラム10 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙2・教養番組のリーディング2・センテンスディクテーション&シャドーイング2・音楽の中の連続音2
13回	多聴読プログラム11 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙3・教養番組のリーディング3・センテンスディクテーション&シャドーイング3・音楽の中の連続音3
14回	e-learning教材学習テスト(2回目) 聴読プログラム12 (題材: アメリカの家族生活)・教養番組語彙4・教養番組のリーディング4・センテンスディクテーション&シャドーイング4・音楽の中の連続音4
15回	第7回～第14回の授業の振り返り(フィードバック)・レポート作成上の留意点の確認
16回	学期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013030	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	2M6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、文章全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)、段落間の関係、を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れるようになる。</p> <p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度の大意が取れるようになる。必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れるようになる。</p> <p>文脈に応じて語彙の解釈ができるようになる。</p> <p>基本的な英語を、聞いて理解できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>課外学習のe-Learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とするe-Learning教材学習テスト2回、各30分程度)、定期試験45%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約3%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>Reading the World: Contemporary Problems and Solutions, Norma Reveler / Hiromi Nema, NAN'UN-DO, 1,700+税 (CD付き)</p> <p>第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシス広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシス広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 3 Sports Idols
第2回	Unit 3 Sports Idols
第3回	Unit 4 Deadly Influenza
第4回	Unit 4 Deadly Influenza
第5回	Unit 5 What's it say?
第6回	Unit 5 What's it say?
第7回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 8 Online-gaming Addiction
第8回	Unit 8 Online-gaming Addiction
第9回	Unit 7 Driving and the Cell
第10回	Unit 7 Driving and the Cell
第11回	Unit 11 Obesity
第12回	Unit 11 Obesity
第13回	Unit 6 Animal Extinction
第14回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 13 Global Financial Crisis
第15回	Unit 13 Global Financial Crisis
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013031	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	2L1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室 (環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受付		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業を通して、英語を発信型言語のツールとして活用していく機会とする。		
授業到達目標/Course goals	ある程度まとまった内容の英文を日本語で素早く要約し、平易な英語で要約が素早く簡潔に行えるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業時の予習チェック (20%), E-Learning教材学習テスト (40%), 定期試験 (40%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	expressing yourself in English, summary writing		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材, 参考書等は授業時に指示する		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, Sample Listening Test		
第2回	Listening 1, プリント教材 (1)		

第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	プリント教材(5)
第7回	e-learning教材学習テスト(1) (約30分程度), DVD教材(1), プリント教材(6)
第8回	DVD教材(2), プリント教材(7)
第9回	Listening 5, プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 7, プリント教材(10)
第12回	Listening 8, プリント教材(11)
第13回	Listening 9, プリント教材(12)
第14回	Listening 10, プリント教材(13)
第15回	e-learning教材学習テスト(2) (約30分程度), まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013032	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	2L (英2)		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 4時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります。		
授業到達目標 / Course goals	自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。TOEICリーディング問題に慣れ、ポキャブラリーを習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、e-Learning教材学習テスト2回40%、speaking test 10%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	ポキャブラリーを覚えること。また、スピーチを作り、何回か練習する		
キーワード / Key word	リピーティング、シャドウイング、音読		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Openvoice Workbook Intermediate, Kaigai Connection, TOEIC TEST リーディングスピードマスター-New Edition (成重寿、Jリサーチ出版)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語での発信を楽しんでください		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	
第1回	オリエンテーション 教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴	A B C	

第2回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 1	A B C
第3回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 1	A B C
第4回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 2	A B C
第5回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 2	A B C
第6回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 3	A B C
第7回	第1回e-Learning教材学習テスト 教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 3	A B C
第8回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 4	A B C
第9回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 4	A B C
第10回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 5	A B C
第11回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 5	A B C
第12回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 6 スピーキングテスト	A B C
第13回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 6	A B C
第14回	教科書Unit 8 問題練習 Workbook 7	A B C
第15回	第2回e-Learning教材学習テスト 教科書Unit 8 問題練習 Workbook 7	A B C
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013033	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山口 敦子 / Yamaguti Atuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Target students	2L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a_yamaguchi n-junshin.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095 - 846-0084		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本でも親しまれている英米の物語を読むことによって、文法力や語彙力を増やし、英文の読解力を強化することを目標とする。またCDを聞くことでリスニング力を付け、英文のリズムをつかむ。さらに本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景に触れながら生きた英語を味わっていく。本年度はシャーロック・ホームズ・シリーズの代表的な短編2編をテキストとして取り上げる。		
授業到達目標/Course goals	英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文を把握しながら、長文の読解力を強化することができるようにする。CDに収められている生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への積極的な取り組み状況 (発表とクイズ) 10% 定期試験 50%、 e-Learning教材学習テスト 40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定した範囲の和訳、問題演習を予習しておく。 授業の復習として毎回出されるクイズをやっておく。		
キーワード / Key word	リーディング、リスニング、英文法、語彙、構文把握、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Mystery Tour with Sherlock Holmes (センゲージ ラーニング)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	あらかじめ指定された担当者は和訳を発表すること。担当者以外の学生も毎回和訳、問題演習の予習をして授業に臨むこと		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	シャーロックホームズの短編の中でも特に人気のある物語を取り上げています。物語を読む楽しさが、きっと英語の学習への動機を高めてくれるでしょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション(授業の進め方、シャーロック・ホームズ・シリーズとその英語について、Warm-UP)
第2回	Unit1: The Red-Headed League, An Easy Job リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第3回	Unit2: The Red-Headed League, Mr. Wilson Is Put to a Test リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第4回	Unit3: The Red-Headed League, Job Suddenly Ends リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第5回	Unit4: The Red-Headed League, Holmes Gathers Information リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第6回	Unit5: The Red-Headed League, Setting the Trap リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第7回	e-Learning 教材学習テスト1回目 Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (1) リーディング、問題演習、リスニング
第8回	Unit6: The Red-Headed League, Holmes Explains the Plan (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第9回	Unit7: The Adventure of the Copper Beeches, A Job with Strange Requirements リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第10回	Unit8: The Adventure of the Copper Beeches, The Work Begins リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第11回	Unit9: The Adventure of the Copper Beeches, A Strange Observer リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第12回	Unit 10: The Adventure of the Copper Beeches, Miss Hunter Looks Around リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第13回	Unit 11: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Holmes Has an Idea リーディング、問題演習、リスニング、ディクテーション、ペアワーク
第14回	Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (1) リーディング、問題演習、リスニング
第15回	e-Learning 教材学習テスト2回目 Unit 12: The Adventure of the Copper Beeches, Mr. Rucastle's Terrible Fate (2) リーディング、問題演習、ディクテーション、ペアワーク
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013034	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤内 則光 / Fujiuti Norimitu		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	(2P1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fujiuchi tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-840-2000 (内線335)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	外語大335研究室にて随時・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。		
授業到達目標/Course goals	英語のテレビ放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	全て主教材より 定期試験40%(単語理解6%、本文内容ディクテーション 14%(部分点あり)、内容理解15%、課題英作文 5%(部分点あり)) 平常点20%(英作文提出と副教材解答結果提出) 課外学習のe-learning 教材テスト40%(1回目 20% + 2回目 20%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	主教材: NHK NEWSLINE (金星堂) 副教材: Campus Listening(成美堂)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	教科書を購入し、発音記号が載っている英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての生が平等に教育を受ける機会確保するため修妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理配慮提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TELL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	DVDを見て、放送を一通り音読で真似てみる程度の事前訓練をしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	10/4 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認
第2回	10/11 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ
第3回	10/18 副教材 Unit 3、主教材 教科書継続、または新章へ
第4回	10/25 副教材 Unit 4、主教材 教科書継続、または新章へ
第5回	11/1 副教材 Unit 5、主教材 教科書継続、または新章へ
第6回	11/8 副教材 Unit 6、主教材 教科書継続、または新章へ
第7回	11/15 副教材 Unit 7、主教材 教科書継続、または新章へ 第1回e-Learning教材学習テスト
第8回	11/22 副教材 Unit 8、主教材 教科書継続、または新章へ
第9回	11/29 副教材 Unit 9、主教材 教科書継続、または新章へ
第10回	12/6 副教材 Unit 11、主教材 教科書継続、または新章へ
第11回	12/13 副教材 Unit 12、主教材 教科書継続、または新章へ 3-Step CALL 小テスト 2回目
第12回	12/20 副教材 Unit 13、主教材 教科書継続、または新章へ
第13回	1/10 副教材 Unit 14、主教材 教科書継続、または新章へ
第14回	1/17 副教材 Unit 21、主教材 教科書継続、または新章へ
第15回	1/24 副教材 Unit 24、主教材 教科書終了 第2回e-Learning教材学習テスト
第16回	2/7 定期試験 90分、提出物最終締め切り

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013035	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	宇佐美 康子 / Usami Yasuko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	2P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	usamikan fsinet.or.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>今まで培ってきた一文一文を正確に読む力(精読力)を保持しつつ、ある程度まとまった量の英文を、ある程度速く読んで、ある点についての情報をできるだけ正確に抜き出す、或いは、大意を取る力(速読力)を育てる。英語文章の構成を学び、文章全体としての主題(main idea)、段落の主題を述べる文(topic sentence)とそれを具体的に述べる文(supporting sentences)、段落間の関係、を取る練習をする。また、聴解の活動を通して、英語によるオーラルコミュニケーションの基礎を強化する。</p> <p>現在多くの分野において、第一線の情報は、英語経由で最も早く詳しく数多く手に入る傾向にある。その現状を前提に、実践で役立つような英語の読解力の向上を目指す。</p>		
授業到達目標/Course goals	<p>テキスト程度の英文をある程度の速さで読み、必要な情報を探せ、ある程度的大意が取れるようになる。</p> <p>必要な場合は、正確な英文理解のために基本文法が適用でき、正確に意味が取れるようになる。文脈に応じて語彙の解釈ができるようになる。</p> <p>基本的な英語を、聞いて理解できるようになる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	<p>課外学習のe-learning 40% (3 Step-CALL と Power Words とを内容とするe-Learning教材学習テスト2回、各30分程度)、定期試験45%、小テスト約12%、授業での提出物や積極的な授業への参加等約3%。</p> <p>課外学習の e-learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、パラグラフリーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>Readings in Science, Yuji Suzuki in association with NATURE, Nan'un-do, ¥2,100+税 (CD付き)</p> <p>第1回目の授業の初めに教室でテキストを購入するので、代金を忘れずに。</p>		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る 社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシス広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシス広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095 - 819 - 2006 (FAX) 095 - 819 - 2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	毎回小テストをします。これは、好評です。予習して授業に臨むことが原則です。英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要です。英語が苦手な学生もいると思いますが、努力すれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション、 Unit 1 Babies learn to babble like birds learn to sing
第2回	Unit 1 Babies learn to babble like birds learn to sing
第3回	Unit 2 It's not just Fukushima: Mass disaster evacuations challenge planners - [1]
第4回	Unit 2 It's not just Fukushima: Mass disaster evacuations challenge planners - [1]
第5回	Unit 3 It's not just Fukushima: Mass disaster evacuations challenge planners - [2]
第6回	Unit 3 It's not just Fukushima: Mass disaster evacuations challenge planners - [2]
第7回	第1回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 4 Baseball players reveal how humans evolved to throw so well
第8回	Unit 4 Baseball players reveal how humans evolved to throw so well
第9回	Unit 5 Huge cancer study uncovers 74 genetic factors
第10回	Unit 6 Amorous insects predict the weather
第11回	Unit 7 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [1]
第12回	Unit 8 3-D printed windpipe gives infant breath of life - [2]
第13回	Unit 9 Pilot projects bury carbon dioxide in basalt
第14回	Unit 10 Disputed results a fresh blow for social psychology
第15回	第2回 e-learning教材学習テスト(30分程度) Unit 10 Disputed results a fresh blow for social psychology
第16回	期末テスト

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013036	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-Learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words) 40% Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード/Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英会話の教科書(Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	
第1回	英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)	B	
第2回	初対面のあいさつ、自己紹介	B	
第3回	別れのあいさつ・久しぶりに会う	B	

第4回	お礼を言う・謝る	B
第5回	ほめる・誘う	A
第6回	お悔やみ	B
第7回	人間関係は対等・まず結論ありき	B
第8回	e-Learning教材学習テスト1回目、中間テスト ⑥	B
第9回	日本流「謙虚さ」から生じる誤解・非言語メッセージ	B
第10回	色の表現・語順はやっかいだ	B
第11回	そのカタカナ英語、通じない!	B
第12回	曖昧表現・間接表現	B
第13回	謙讓表現・丁寧さを出すノウハウ	A
第14回	e-Learning教材学習テスト2回目、中間試験 A	B
第15回	まとめ	B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013037	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	上村 俊彦 / Uemura Toshihiko		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	水(2F3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yandi_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel	長崎県立大学 (代表) 095-813-5500		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日1時限目、2時限目の休み時間		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	多様なトピックをカバーする英文テキストやその学習リソースを用いて、Common European Frame of References of Languages (CEFR) B1?B2レベルの英語運用能力のトレーニングをおこなう		
授業到達目標/Course goals	CEFR B1?B2レベルの英文テキストを用いた事前学習、クラス演習を通じて、B1~B2レベルの英文を読解する(リーディング)、聞き取る(リスニング)、音読する(スピーキング)、英文を作成する(ライティング)ができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	40% 大学指定学習成果(e-Learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words)2回) 60% クラス教材を用いた学習成果(中間、期末試験スコアにクラス参加・出席状況を加味)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教材準拠のオンライン学習コンテンツ、教材テキストの音声教材を用いた自律学習を心がけてください。		
キーワード/Key word	CEFR B1?B2		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Clare, A, & Wilson, J.J.(2015). Speakout 2nd ed. Intermediate. Pearson		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	履修クラス指定の学生、事前に履修登録が認められた学生のみが履修可です。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	www.english.com/speakout		
学生へのメッセージ/Message for students	毎回のクラスでは、紙版、電子辞書、スマートフォンアプリの英々辞典、英和辞典(詳細、初回)が利用可です。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション: テキストを用いたshadowing自習とクラス学習について、CEFRとは		

第2回	U1. Identity: (Reading) Bilinguals/ (Video) The blind painter
第3回	U1 Listening Quiz U2. Tales: (Reading) The world's best-known conspiracy theories/ (Video) Hustle/ G. narrative tense
第4回	U2 Listening Quiz U3. Future: (Reading) A better world?/ (Video) The culture show Youtube/ G. Future (prediction)
第5回	U3 Listening Quiz U4. Jobs: (Reading) You don ' t have to be born to be a millionaire/ (Video) Gavin and Stacey/ G. "would" & "used to"
第6回	U4 Listening Quiz U5. Solutions: (Reading) Low tech solutions/ (Video) Top gear/ G.Polite requests
第7回	U5. Listening Quiz, Review 1 (U1 to U5) 中間試験
第8回	第1回e-Learning 教材学習テスト U6. Emotion: (Reading) The people watchers/ (Video) My worst week/ G. Collocations
第9回	U6 Listening Quiz U7. Success: (Reading) The human computer/ (Video) Andy Murray: The man behind the racquet/ G. Present perfect simple vs. present perfect continuous
第10回	U7 Listening Quiz U8. Communities: (Reading) Neighbours: The good, the bad and the bizarre/ (Video) Tribe: Anuta/ G.Relative clauses
第11回	U8 Listening Quiz U9. History: (Reading) BBC history magazine/ (Video)The divine Michelangelo/ G.Conditionals
第12回	U9 Listening Quiz U10 . World: (Reading) Ethical man in the USA/ (Video) Nature's great events: The great melt/ G. Verb patterns
第13回	U10 Listening Quiz Speakout extra resources 1
第14回	第2回e-Learning 教材学習テスト Speakout extra resources 2
第15回	U12 Listening Quiz Review 2 (U6 to U10)

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590013038	科目番号 / Subject code	05900130
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11313_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (2L(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山田 健太郎 / Yamada Kentarou		
科目分類 / Class type	B科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Target students	2L(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-yamada_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。DVD付きテキストを使用しリスニング力を鍛える。また英文エッセイの内容について英問英答で理解を確認し、読解のポイントをつかむ。英文を聞き取る練習として、英英辞典を使った単語クイズも行う。テキストに基づいたディクテーション・テストをするほか、e-learning課外学習も組み入れてリスニング力・語彙力を強化する。		
授業到達目標/Course goals	1. 平易な英語で書かれていれば、社会の問題について書かれた英文でも理解できるようになる。 2. わかりやすく話された英語であれば、ビジネスや社会のことについての会話でも理解できるようになる。 3. 簡単な内容についての自分の意見を、文で相手に伝えることができるようになる。 4. 英文の質問に対する自分の意見などを、平易な英文で書けるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験(ディクテーションを含む) 30% 中間テスト(ディクテーションを含む) 15% 授業への参加度15% 課外学習のe-learning 40% (e-Learning教材学習テスト1目20%+2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	各回の授業の予習として、各ユニットの語彙クイズ(Key Vocabulary)をして、Reading Passageを読んできるところを課題とする。復習としては、自分の単語ノートを作っておくこととDVDのシャドウイングをしておくことを課題とする。どの程度できているかは、授業中のPop-Quizや中間テスト、定期テストで確認する。毎回の授業の最後にコメントシートを提出し、毎回の授業の振り返りを行う。		
キーワード/Key word	Repetition is the mother of learning.		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Alice Gordenker / John Rucynski 『Working in Japan』 Cengage Learning, 2015		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習状況や質問・応答など、授業の取り組みも評価として重要なファクターとなる。20分以上の遅刻は原則欠席評価とする。授業中の携帯操作等不真面目な態度は減点評価する。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について）
第2回	Unit 1: Sales Can Be Like Acting
第3回	Unit 2: Travel Opens Up the World
第4回	Unit 3: Love Sells Cars
第5回	Unit 4: Translating Is More Than Words
第6回	Unit 5: Serve Up the Best Possible Service
第7回	中間テスト
第8回	Unit 7: Teaching Is Helping Others Perform Their Best e-learning教材学習テスト 1回目
第9回	Unit 6: Toast Your Success!
第10回	Unit 8: Build a Happy Life!
第11回	Unit 9: Life Is Like Riding a Bicycle
第12回	Unit 10: Trade Ideas for Positive Change
第13回	Unit 11: Connect Workers With Companies
第14回	Unit 12: Necessity Is the Mother of Invention e-learning教材学習テスト 2回目
第15回	Unit 13: What's the Recipe for Success
第16回	定期試験